

ISSN 0913-5154

平成25年度

川崎市健康安全研究所年報

第1号

(通巻第49号)



KAWASAKI CITY

川崎市健康安全研究所

(2013)

はじめに

昭和 27 年 1 月川崎市中央保健所の一画に設置された川崎市立衛生試験所は、昭和 45 年 5 月川崎区大島に川崎市衛生研究所として新たにスタートし、以来 40 年余にわたって川崎市民の健康・安全・危機管理としての試験調査、そして地道な研究を続けてきました。そして平成 25 年 2 月、川崎区殿町に新築された川崎生命科学・環境センター(Life Science Environmental Research Center: LiSE)へ移転し、同年 3 月に名称も「川崎市健康安全研究所」と改められ、新たな研究所の歴史が始まりました。平成 24 年度年報は、川崎市衛生研究所として最後の年報(第 48 号)となりましたが、平成 25 年度年報は、川崎市健康安全研究所として第 1 号、通巻第 49 号の年報となります。

本年報には、新たな研究所の概要をはじめにお示してありますが、それに続いて移転後も通常の試験検査業務は滞ることなく継続ができ、さらに新たな研究の取り組み、他研究機関や大学などとの連携・協力などが進展していることを記載しております。

移転後は本市内外あるいは海外の方の視察・見学などが相次ぎ、平成 25 年度の視察・見学実績は、100 件、1249 名でした。また、LiSE 全体の取り組みとして、一般の方、特に子供たちを対象とした夏の科学イベントを開催、参加者は 650 人と盛況でした。

組織的には、これまではその機能役割があまり明確ではなかった研究評価委員会を、内部評価委員会・外部評価委員会に分けてそれぞれの機能役割を明確化しただけでなく、倫理審査委員会を設置し、研究の内容・倫理面の妥当性・進捗状況の透明化・所外からの評価制度などを整備し、研究所としての基盤を確立しました。これによって、当研究所での厚生科学研究費などの公的研究競争資金の獲得も可能になりました。

また、当研究所の移転に伴い、感染症情報センター機能が当研究所に移管されましたが、疫学調査の強化のため、実地疫学専門家養成プログラム・川崎版(Field Epidemiologist Training Program- Kawasaki: FETP-K)プランを全国に先駆けて発足させるなど、市内医療機関の協力のもと、さらなる感染症情報の収集・分析・還元(サーベイランス)機能充実を図っているところです。平成 24 年は、全国的に風疹の流行が問題になりましたが、川崎市は川崎市医師会の協力のもと全国的にもいち早くその対策に取り組み、それらの科学的裏付けとなるデータの整理・提示などは、感染症情報センター・微生物担当などで行いました。

日常的な調査研究のほか、突発的な健康危機事例ともいえる、農薬(マラチオン)混入事件に伴った市内流通品の調査あるいは疑い例に関する緊急検査対応を行ったこと、市内某施設での肺炎集団発生事例(クラミジア肺炎)への病原追及・疫学調査、それに基づいた患者治療・拡大予防策への提言などが市内医療機関・保健所・健康福祉局健康安全部とのチームワークによってできたことは、25 年度の出来事の中で特筆すべきことかと思えます。

研究所としての機能が強化され実施が着実に進められておりますが、川崎市の関係各位・各部署の御理解と御協力、各地方衛生研究所等の声援、そして市民の方々の御理解の賜物であり、この場を借りて改めて厚く感謝申し上げます。

さらに、研究所職員諸君の獅子奮迅の努力を所長として大きく誇りに思うことを、昨年と同様付記させていただくとともに、新たにスタートした川崎市健康安全研究所が、川崎市民の健康と安全、ひいては我が国そして世界の人々のための公衆衛生の向上にどれほど寄与していくか、その様子を平成 26 年及びその後の年報でお伝えすることができるよう、研究所職員一同精進を続けることを改めてここに誓うものです。

平成 26 年 10 月

川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦

目次

第1章 概要

1 沿革	1
2 施設概要	2
(1) 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)施設概要	2
(2) 川崎市健康安全研究所の開設について	2
(3) 健康安全研究所施設概要	3
3 組織	4
(1) 組織と業務	4
(2) 事務分掌	5
(3) 人員配置	5
4 予算及び決算	6
5 学会参加並びに視察対応等の実績	7
(1) 学会・研究会等出席実績	7
(2) 講習会・研修会等受講実績	8
(3) 会議等出席実績	10
(4) 講師派遣実績	15
(5) 研修指導実績	16
(6) 視察・見学受け入れ実績	16

第2章 業務実績

1 企画調整部門	20
(1) 企画調整担当	20
(2) 感染症情報センター担当	23
2 理化学部門	27
(1) 食品担当	27
(2) 水質・環境担当	31
(3) 残留農薬・放射能担当	35
3 微生物部門	49
(1) 消化器・食品細菌担当	49
(2) 呼吸器・環境細菌担当	51
(3) ウイルス・衛生動物担当	53

第3章 試験検査

1 月別検査件数	58
2 依頼別・項目別検査件数	61
3 食品別検査項目内訳	66
(1) 食品別検査項目内訳(理化学検査)	66
(2) 食品別検査項目内訳(微生物検査)	67
4 水質別検査項目内訳	68

第4章 調査研究

1 調査研究報告等実績一覧	69
(1) 平成25年度学会発表実績(口演発表)	69
(2) 平成25年度学会発表実績(示説発表)	70
(3) 平成25年度学会発表実績(誌上発表)	70
(4) 平成25年度学術誌等掲載実績	71
(5) 平成25年度行政報告等実績	73
2 調査研究報告	74

第5章 職員に関する事項

1 人事記録	96
2 職員名簿	97